

沖縄県 宮古土木 長大海上橋の補修工事に挑む



伊良部大橋

池間大橋は宮古本島と池間島を結ぶ、PC4、5径間連続桁橋(一般部)+PC3径間連続桁橋(航路部)。1992年に供用した。同橋では2012年度



池間島と結ぶ

池間大橋

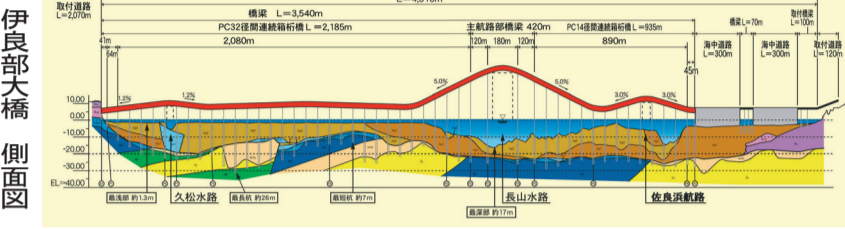
池間大橋 伊良部大橋

耐震補強とひび割れ補修など 支承の補修とポストスライド

沖縄県土木建築部宮古土木事務所では現在、宮古本島と隣接する島を結ぶ橋長1425mの池間大橋と橋長3540mの伊良部大橋の補修工事に取り組んでいる。常に湿度と塩分濃度の高い熱風にさらされる厳しい環境にある海上長大橋の維持管理を担当する道路整備班の赤嶺涼一(片山宏美)主任技師に今回の補修工事について聞いた。

沖縄県 土木建築部 宮古土木事務所 道路整備班 鬼塚晶基主任技師(左) 赤嶺涼一(片山宏美)主任技師(右)

耐震補強に着手しており、橋梁定期点検で見つかったひび割れや支承の補修とあわせて耐震補強工事を行っている。予算の関係で、1、2年に1橋脚ずつ進めているという。耐震補強の工種は、橋脚の補修、支承の補修、鋼板部の防錆処理やクリップ乾燥収縮の橋桁の伸縮が落ち着いてきたため、ポストスライドとしてゴム支承のひび割れを戻す工事を行っている。



伊良部大橋は、70万円で受注し、先月着工したところだ。もう一つの工事は、P39、P40、P46、P48の5橋脚を踏まえ100年対応の橋梁として、当時考えらるる最高の技術を結集して建設してきたと考えている。供用から8年目で特

伊良部大橋の補修工事現場で、高欄取付部の補修作業が行われている。作業員はヘルメットと作業服を着用し、慎重に作業を進めている。

伊良部大橋の補修工事現場で、高欄取付部の補修作業が行われている。作業員はヘルメットと作業服を着用し、慎重に作業を進めている。

伊良部大橋の補修工事現場で、高欄取付部の補修作業が行われている。作業員はヘルメットと作業服を着用し、慎重に作業を進めている。

伊良部大橋の補修工事現場で、高欄取付部の補修作業が行われている。作業員はヘルメットと作業服を着用し、慎重に作業を進めている。

伊良部大橋の補修工事現場で、高欄取付部の補修作業が行われている。作業員はヘルメットと作業服を着用し、慎重に作業を進めている。

伊良部大橋の補修工事現場で、高欄取付部の補修作業が行われている。作業員はヘルメットと作業服を着用し、慎重に作業を進めている。

伊良部大橋の補修工事現場で、高欄取付部の補修作業が行われている。作業員はヘルメットと作業服を着用し、慎重に作業を進めている。

支承の長寿命化対策に技術提案

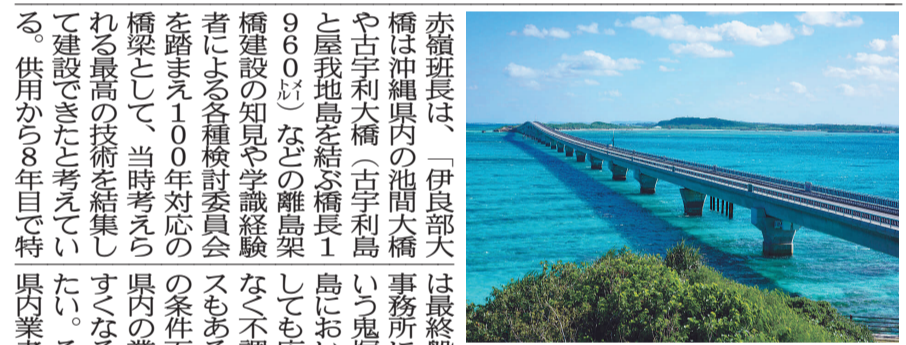
三重塗料とサンクリエイトが特許保有

伊良部大橋の補修工事現場で、高欄取付部の補修作業が行われている。作業員はヘルメットと作業服を着用し、慎重に作業を進めている。

伊良部大橋の補修工事現場で、高欄取付部の補修作業が行われている。作業員はヘルメットと作業服を着用し、慎重に作業を進めている。

伊良部大橋の補修工事現場で、高欄取付部の補修作業が行われている。作業員はヘルメットと作業服を着用し、慎重に作業を進めている。

伊良部大橋の補修工事現場で、高欄取付部の補修作業が行われている。作業員はヘルメットと作業服を着用し、慎重に作業を進めている。



赤嶺班長は、「伊良部大橋は沖縄県内の池間大橋や古宇利大橋(古宇利島)と屋我地島を結ぶ橋長1960m)などの離島架橋建設の知見や学識経験者による各種検討委員会を踏まえ100年対応の橋梁として、当時考えらるる最高の技術を結集して建設してきたと考えている。供用から8年目で特

ステンレスカットワイヤー (Stainless Cut Wire)

シリンダータイプ (SCW-C)

ラウンドタイプ (SCW-R)

特徴

- 残留粒子による腐食を抑制し、耐久性・耐食性を維持する
- リサイクル性に富み、産業廃棄物のコストを削減する

用途

- アルミ製品、磨き棒鋼のバリ取り、表面処理
- 塗装・コーティング前の下地処理(造船・橋梁)
- 非鉄金属製品の表面仕上げ
- アルミ製品の砂落とし

長年培ってきた専門技術と専門知識を駆使し、プラスト工程をトータルサポート

WINOA IKK JAPAN 株式会社

〒476-0001 愛知県東海市南柴田町又ノ割412-4
TEL 052-307-8100 FAX 052-307-8197

www.ikkshot.com

2019年度分(18717件) 2021年度分(19882件)
2020年度分(19834件) 2022年度分(18896件)